

町田市議会・志政クラブ

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集

町田市議会

所属:志政クラブ

〒194-8520

東京都町田市

森野 2-2-22

☎042-724-2127



双方向の情報交流

町田市への観光客について

この時期、泊りがけで出かける機会はありませんでしたが、都心では「旧岩崎邸」、近隣では熱海の「起雲閣」を十分な時間を取って見学しました。「旧岩崎邸」は大三菱の創業者である岩崎弥太郎の邸宅であり、「起雲閣」は大正・昭和の文豪が泊まった旅館です。建物に趣があり、調度品も一級材料が使われており、今ではどちらも資料館となっています。そのどちらも、大勢の人が訪れていました。

さて、町田市にこうしたものに匹敵するものがあるかといえば、それは白洲次郎・正子の「武相荘」でしょう。私も時折訪れますが、セレブブームも重なってか、かなり遠来の観光客も訪れています。翻って、それらの施設の共通点としては、個人の息吹が感じられる歴史の重厚さではないでしょうか。

他方で、町田市を代表する施設では、町田市国際版画美術館があります。こちらは、芸術・美述の分野ですが、全国的な知名度の伝統文化の有していなかった町田市に全国や世界に呼びかけようとした点でその創設は評価できるものと思います。創立 25 周年を迎えています。町田を観光するなら、「武相荘」と「町田市国際版画美術館」の二本立てが、唯一つの全国レベルのコースだと思っています。



次回の議会質問について

第 2 定例会(6 月)で質問した、市長の退職金問題に関して、掲示板やメールで意見が相次ぎました。私は、「市議会議員には存在しない市長の退職金制度について、市長はどのように発言しましたか」と質問したわけです。ちなみに、石阪市長になってこの種の質問は始めてのことでしょう。

市長の答弁では、「一番最初の選挙の時に言及し、街頭で、市長の退職金、1 期目については要らないんじゃないかというようなこととお話したことが一度だけあります。」と言うものでした。(8 月 4 日発行の町田市議会だよりの記事にある内容です)

その質問時は、まず、事実関係を明らかにすることが目的でした。その発言は市長の公約やマニフェストであったのか、あるいは、単に、街頭演説で勢いのあまり、喋ってしまったものか、その真意は質してみないと分かりません。今後、きちんとした結論を得るように、また、取り上げるつもりでいます。ご期待下さい。

さて、次回の第 3 定例会(9 月議会)一般質問では、市長を支える副市長の指名について関して尋ねてみようと思っています。現状、町田市は 2 名の副市長があり、その中の 1 名を東京都から交代で該当者として継続して受け入れています。当初からこれまでに 4 人目の副市長を迎えています。町田市が、このあり方を永続するものか、あるいは、国から受け入れることもあり得るのか、あるいは従来のように、生え抜きを抜擢する可能性があるのか、とすることを改めて問い直そうと言う次第です。

★マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> 発見動画チャンネル <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E103-13 吉田つとむ (市議会議員)

町田市議会・志政クラブ

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



携帯QRコード
でブログ閲覧



インターン生と国会へ

研修生になった動機は

(以下はインターン生のレポートの抄文です)

はじめまして、第 30 期研修生の吉原弘晃と申します。現在大学院では国際協力学専攻という専攻に所属しています。専攻では特に NGO がこれからどのような役割を世界で担っていきけるかについて研究したいと思っています。

吉田さんのインターンに申し込もうと思ったきっかけは市議会議員の活動を身近で見たいと思ったからです。国政と比べると市政は確かにそこまでの影響力は持っていませんが、NGO や NPO やその他の市民団体と比べると圧倒的に市政の方が影響力を持っています。そういった市政を動かしている市議会議員の活動ぶりを見てみたいと思い、吉田さんのインターンシップに申し込みをさせていただきました。

(第 30 期研修生 吉原弘晃
東京大学大学院修士 1 年)



高齢者施設を訪問して

(以下はインターン生のレポートの抄文です)

成瀬台にある「ケアセンター成瀬」へご挨拶

に伺いました。こちらは福祉施設ですが、とても開放的な雰囲気です。施設内のカフェの方はボランティアです。「家にいる時間があるならここにきて皆さんと話がしたい」とおっしゃっていたのが印象的でした。地域で支えてくれる人たちが存在することはとても素晴らしいことですし、住民同士が良好な関係を築くことは地域の活性化にも繋がるのだと思いました。

西山美術館の見学を終え、金森にある高齢者施設の「合掌苑」で行われるお祭りにボランティアとして参加しました。吉田議員は以前からお手伝いをしていますが、私は訪れるのも初めてだったので受け入れていただけたか不安でした。しかし施設の職員方やボランティアの方が色々とお話してくださったり、気遣ってくださったので安心して活動することができました。短い時間でしたが、施設の利用者の皆さんだけでなくその家族、地域の子どもたち、保護者の方とたくさんの方がいらして賑やかで楽しかったです。ボランティアにも地域の方、小学校の先生方が参加していて、地域のサポートが強いことが分かります。

終了後は打ち上げに同席させていただきました。ボランティアの皆さんが吉田議員に色々な要望を伝える場面も見られました。このような場は市民の生の声を聞ける良い機会でもあったと感じました。議員の日々の活動で基本的な、しかし一番重要なことについて学ぶことが出来た一日でした。

(第 30 期研修生 矢島見依子 成城大学 3 年)
* 地域や施設の行事に積極的に参加し、個人の方々からも意見や要望を聞かせていただくように務めています (記: 吉田つとむ)

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ どうぞ、町田市政や議会に関するご要望や、ご意見をお気軽にお寄せ下さい。

ご連絡、お問い合わせは電話・FAX、メールにて。Mail: yoshidaben@gmail.com